

## 灰色と光 Gray in light

石橋 志郎 ISHIBASHI Shiro

2021年06月02日(水) - 06月12日(土)

OPEN pm 12-7 水・木・金・土曜(日・月・火曜休廊)

ドイツの文豪ゲーテはニュートンの光学理論を批判して「色彩論」という本を書き「色は曇りの中にある」と言っています。「曇り」というのは、白(光)と黒(闇)の間にある「グレー」ゾーンのことのようです。彼に言わせると、夕焼けが赤いのは薄闇を通して陽光を見るからで、青空は陽光を通して暗い宇宙を見るから。光と闇の間にある曇り(灰色)の中に青も赤も含まれるとゲーテは感じました。

石橋志郎の絵画を見ると、ゲーテの言葉を思い出します。日本画の素材の特質を熟知した石橋が描く絵画は灰色(複数形)に見えます。岩絵具・胡粉等の粒子を重ねた画面に当たった光は、その中で複雑に屈折あるいは乱反射して観る者の目に届きます。光はすべての色を含みます。灰色の画面の中で屈折を繰り返して出てきた光を見ると「色はグレーの中にある」と言ったゲーテの言葉が蘇ります。さらに深みをもった石橋志郎の「灰色」をご高覧ください。

+1art

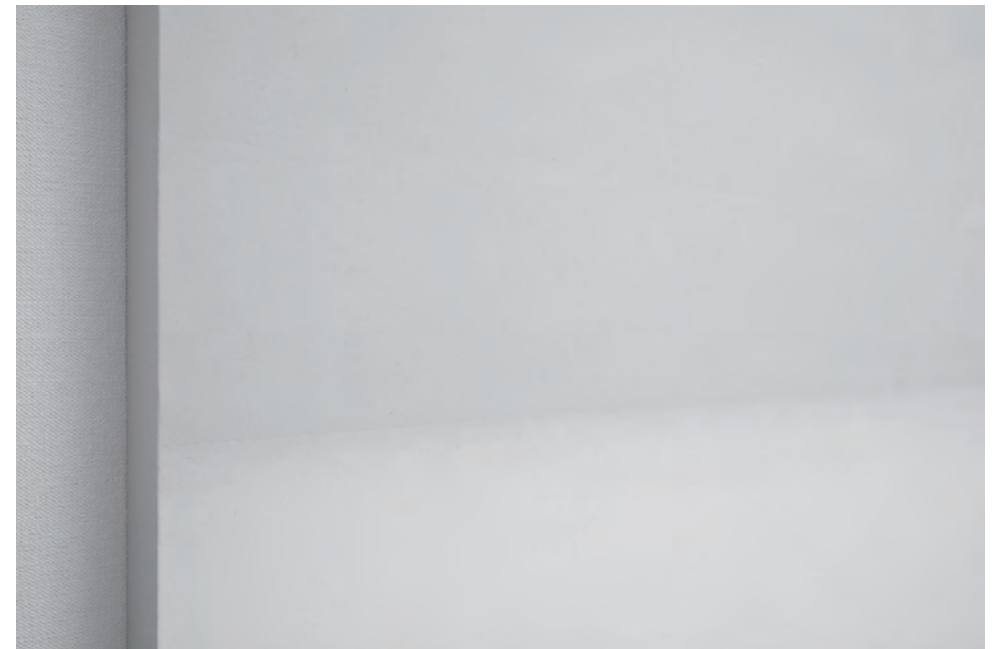
石  
橋  
志  
郎

ISHIBASHI Shiro



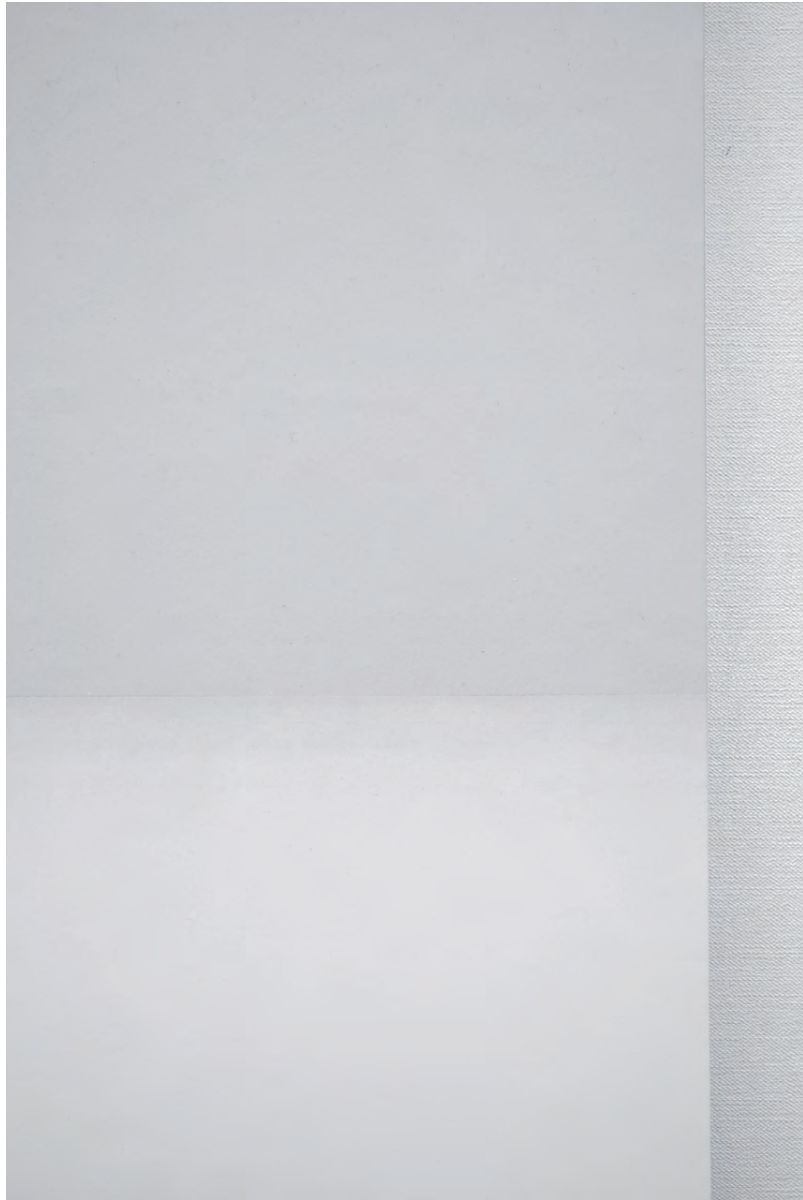
おおらかに眺めることができ、静かにうつろう光を放ち続ける作品を生み出してみたい。  
日本画の素材と対話しながら解決していきたいと思う。

| 展示作品 | 紙本着色(雲肌麻紙、膠、顔料、墨)



Tone

1620×1303mm 2020 雲肌麻紙、膠、顔料、墨  
photo by Takeru Koroda



Tone

1620×1303mm 2020 雲肌麻紙、膠、顔料、墨  
photo by Takeru Koroda

#### 石橋 志郎 ISHIBASHI Shiro 略歴

- 1981 大阪府豊中市出身
- 2005 京都市立芸術大学美術学部日本画専攻卒業
- 2007 同大学大学院修士課程美術研究科絵画専攻修了

#### 個展

- 2019 「絵画と輝度」ギャラリーあしやシューレ (兵庫)
- 2019 「灰色と光」カホ・ギャラリー (京都)
- 2018 「空間、光」ギャラリー恵風 (京都)
- 2014 「トーキョーワンダーウォール都庁2013 石橋志郎」東京都庁 (東京)
- 2011 「世界をくぐりぬけて、椅子に座る」立体ギャラリー射手座 (京都)

#### 企画展・グループ展

- 2021 「京都日本画新展2021」美術館「えき」京都 (京都)
- 2020 「透明」2kw gallery (滋賀)
- 2019 「藝文京展EX つなぐ」京都芸術センター (京都)
- 2018 「尖展」京都市美術館 (京都)
- 2018 「京都府新鋭選抜展2018 - Kyoto Art for Tomorrow -」京都文化博物館 (京都)
- 2017 「第7回 トリエッティレ豊橋 星野真吾賞展」豊橋市美術館 (愛知)
- 2017 「内接/外接」+1art (大阪)
- 2016 「第1回 堂島リバーアワード2016」堂島リバーフォーラム (大阪)
- 2016 「第9回 菅橋彦大賞展」倉吉博物館 (鳥取)、京都文化博物館 (京都)
- 2016 「第2回 藝文京展 現代の平面 ～ひかりとかたち～」京都芸術センター (京都)
- 2015 「佐藤国際文化育英財団第24回奨学生美術展 招待出品」佐藤美術館 (東京)
- 2014 「第1回 続・京都日本画新展」美術館「えき」京都 (京都)
- 2013 「トーキョーワンダーウォール公募2013入選作品展」東京都現代美術館 (東京)

#### 受賞歴

- 2021 「京都日本画新展2021」大賞
- 2014 「第1回 続・京都日本画新展」優秀賞
- 2013 「トーキョーワンダーウォール公募2013」トーキョーワンダーウォール賞